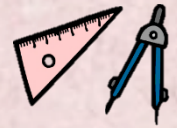




算数・数学部報



第62回愛知県統計グラフコンクール結果

先生方のおかげで、本年度も県へ282点の作品を出品することができました。ご協力ありがとうございました。また、本年度もたくさんの児童・生徒の入賞がありました。おめでとうございます！

◆第1部 (小学校1, 2年生)

金賞 (知事賞)

生きもの大すき	連尺小	長谷 祐真	2年
なれたらいいな おかし話のヒーローに	三島小	太田 幸希	1年

銀賞 (統計協会長賞)

大すき きゅうしょく	連尺小	横井 心菜	2年
どうぶつだいすき	三島小	池田 葵	1年

銅賞 (統計協会長賞)

かぞく だいすき	三島小	鎌田 結愛	1年
どきどきてすと100てんとれるかな	三島小	徳山 宝	1年

◆第2部 (小学校3, 4年生)

金賞 (知事賞)

とんでいけ! ほくたちのちよう	三島小	判治 直哉	3年
竜美っ子は本好き?	竜美丘小	北島 悠	4年
伝えよう 日本の伝とう文化 次の世代へ	竜美丘小	林 彦利	4年
自転車だいすき♡安全に楽しく乗ろう!	竜美丘小	山崎 聖女	4年
みんなでいじめをノックアウト!!	竜美丘小	坂下 穂花	4年

銀賞 (統計協会長賞)

毎日の食事整ってる?	井田小	無笹 陽月	4年
安全登下校で今日もGO	竜美丘小	小野内 志帆	4年
みんなの歯は元気かな? 三年生の歯みがきちょうさ	井田小	青山 怜央	3年

銅賞 (統計協会長賞)

ほくの歯わたしの歯	連尺小	石川 有咲	4年
朝の時間どう過ごしてる?	井田小	西池 遥	4年
お父さんお母さん一緒に読書しよう	上地小	内田 葵	3年

◆第3部 (小学校5, 6年生)

金賞 (知事賞)

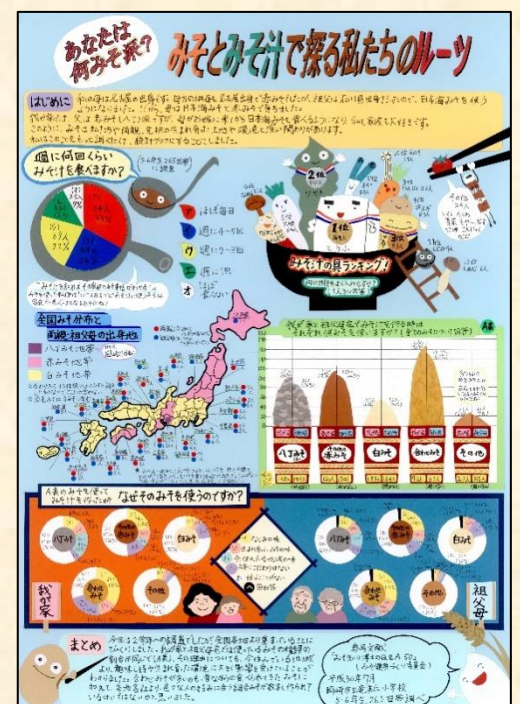
あなたは何みそ派? みそとみそ汁で探る私たちのルーツ	竜美丘小	伊藤 史華	6年
Let's study English! ~あなたにとっての英語活動とは?~	竜美丘小	林 美晃	5年
政宗、信玄、家康...戦国武将のパワーの源! 古今東西、老若男女、みんな食べてる!? みそ! ミソ! 味噌!	竜美丘小	山本 結月	5年
広げよう!! オレンジの輪 ~認知症サポーターを知っていますか?~	竜美丘小	野田 一翔	6年
10代突入! イマドキ親子事情! とれてる? 親子のコミュニケーション	小豆坂小	梅澤 ももか	6年

銀賞 (統計協会長賞)

どう思う? 18歳から成人 ~成人に必要だと思うもの~	竜美丘小	宮永 栞那	5年
魅力がいっぱい岡崎市	連尺小	山田 華凜 山田 華暖	5年 5年
健口生活してますか?	三島小	判治 徹哉	5年
身近にあるぞリサイクルリユースマーク	梅園小	伊藤 慧悟	6年



連尺小 長谷 祐真さんの作品



竜美丘小 伊藤 史華さんの作品

今年度は県内で763点の応募がありました。入選した小中学生の作品73点のうち、53点が市内の児童・生徒の作品でした。さらに、金賞だけで言えば、23点ある中で、20点が岡崎市の作品となり、岡崎市の子どもたちの作品のレベルの高さを感じる結果となりました。

入選した作品の傾向を見ると、例年と傾向は似ていて、小学校低学年から中学年については学校生活や食べ物、交通安全など自分たちの身近なことをテーマにしている作品が多く、高学年から中学生については、それに加え、地域のことや社会で話題になっている作品が多く入選していました。また、今年度については上記に加え、中学校で朝練がなくなったこと、小学校では味噌のことなど岡崎市独自のことについてまとめている作品もありました。今後も、岡崎市ならではの地域独自の独自性が出る作品が出てくるような気がしました。

なお、金賞（愛知県知事賞）を受賞した作品については、第66回統計グラフ全国コンクールへ応募しております。結果については、10月下旬以降に愛知県統計課のトップページ（<http://www.pref.aichi.jp/toukei/>）で掲載されます。

また、入選作品は10月29日（月）午後から11月8日（木）午前まで岡崎市図書館交流館プラザ（りぶら）にて作品を展示しています。ぜひ足を運んでいただき、今後の参考にしてください。

やってみよう 統計グラフ

新学習指導要領では、「Dデータの活用」領域が新設され、数学を活用する力の伸長のために統計教育が重視されます。子どもたちを統計にふれさせる場として、統計グラフの授業に挑戦してはいかがでしょうか。各グラフの特長を理解して質問にあったグラフを選択し、絵を織り交ぜて作成していく中で、子どもたちは興味をもって楽しみながら活動を進めていくでしょう。例えば、各学年でのグラフの学習をした後に、日常生活の出来事をグラフで表現することに取り組んでみるのもよいでしょう。日常生活と算数・数学をつなぐ一つの手段ともなります。



第4回読書会

9月11日（火）に第4回読書会が総合学習センターで行われました。

『研究的実践より学ぶ』というテーマのもと、北中の西尾修一先生と六ツ美南部小の岩月聖将先生の実践発表が行われました。西尾先生の発表では、中学1年「文字の式」の単元を、小学校での学習を生かしながら、教具を工夫することで、一般化して表せることによる数字が代入されるという文字の役割について考えさせる授業の発表でした。岩月先生の発表では、10月17日（水）に行われる授業について、小学5年で学習する「面積」の単元を、六ツ美南部小の研究主題である「対話でつなぐ授業」ということで、対話を通して自らの考えを深めたり広げたりする児童を育成する内容の提案でした。どちらの実践も、単元を通じた構想がなされ、児童・生徒の意欲が持続する授業の実践でした。参加者の先生方からも、ご自身の授業での経験を振り返りながらの積極的な意見交換がありました。

今回、岩月先生の研究発表会の授業では、平行四辺形の求積についての様々な考え方が出ることが予想されます。その考え方をどう分類したり統合したりすることによって公式につなげていくのかを意見交換の中で知ることができました。また、研究発表会当日、対話を通してどのような授業展開になっていくのかがより興味をもつことができました。



【自作教具を紹介する西尾先生】

【読書会参加者の感想】

北中学校の西尾先生の「文字の式」の実践では、フロッピーディスクのケースを使い、文字が書かれた箱の中に数字を入れて考えることで、実際に操作することで文字の役割のイメージがしやすくて、私も使ってみたく感じました。

三浦先生からのご助言では、「ユニークで子どもがびっくりするような教材や問題を提示するとよい」というお話がありました。子どもの学びたいという意欲が高まるような導入や教材の工夫をしていきたいと思いました。
(岡崎小 永谷梨穂)

読書会の詳しい内容につきましては、算数・数学ホームページ <http://cms.oklab.ed.jp/sugaku/index.cfm/1.html> をご覧ください。